

令和9年度市立高等学校入学者選抜について

令和7年(2025年)10月23日 指導課

1 提案理由

- 県立高校においては、令和9年度入学者選抜から、前期選抜と後期選抜を1本化する新たな入試制度へ変更することとしていたが、現在、国で検討されている新たな高校教育改革の動向等を見極める必要があることから、当面の間、現行制度の入学者選抜を継続することとされた。
- 本市においては、これまで県が当初予定していた入試制度の変更を踏まえて、市立高校の入試制度のあり方について検討し、本年3月に以下方針を公表した。

【令和7年3月定例教育委員会会議〔13〕報告(2)より抜粋】

1 基本方針

熊本市立高等学校においては、生徒の受検機会の確保と、安定的な生徒数確保のため、熊本県の入試制度変更に関わらず、前期選抜を継続することとする。

前期選抜、後期選抜のいずれにおいても、各校のスクール・ポリシー(アドミSSION・ポリシー)を重視した検査を実施する。

その際、中学校の事務負担軽減を図るため、出願の電子化等の手立てを講じる。

2 前期選抜実施学科・コース

(1) 必由館高校

・文理総合探究科・芸術コース及び生活デザインコース

※文理総合探究科・文理コースについては、令和9年度入学者選抜から、前期選抜を行わず、後期選抜のみ実施する。

(2) 千原台高校

・情報ビジネス探究科及び健康スポーツ探究科

3 前期選抜募集人員

現行の前期(特色)選抜募集人員枠を基本とし、例年選抜実施当該年度の6月に定める「熊本市立高等学校入学者選抜の基本方針」にて決定する。

4 実施日程

・前期選抜、後期選抜ともに、2校同日に実施する。

・前期選抜は2月上旬に実施する。

※具体的な期日については引き続き県立高校、私立高校の入試日程と合わせて調整

・後期選抜は、県立高校新入試制度における「A日程」と同日に実施する。

- 市立高校においては、県の入試制度変更に関わらず前期選抜を継続することとした一方、必由館高校については、県の入試制度変更に伴う様々な影響を勘案し、文理コースのみ前期選抜を実施しないこととした。

- このたびの県の入試制度変更見送り(現行制度継続)を受け、必由館高校文理コースについても前期選抜を実施することを中心に、改めて市立高校の入試制度について整理する必要がある。

2 県における入試制度変更見送り(現行制度継続)を踏まえた令和9年度市立高校学入学者選抜制度について(案)

○本市においては、県の制度変更に関わらず、前期選抜を継続することとしており、現行から入試制度の大枠を変更する必要はない。

○ただし、必由館高校の文理総合探究科・文理コースについては、県の変更見送りを踏まえ、前期選抜も実施できるよう、3月に公表した内容から変更し、現行制度を継続することとする。

※現行制度では「希望する学科・コース」は前期選抜を実施できることとしている。

【参考 令和8年度(2026年度)熊本市立高等学校入学者選抜の基本方針 より抜粋】

1 入試制度の大枠

令和8年度(2026年度)の入試制度は、前期(特色)選抜、後期(一般)選抜、二次募集とする。

3 前期(特色)選抜

(2) 実施学科等

希望する学科・コース(コースとは第1学年から定員を定めて募集するものをいう。)

3 その他

○令和9年度入学者選抜制度の大枠については、6月定例教育委員会会議において入学者選抜の「基本方針」として決定いただくが、今後、入試制度の大枠を変更する必要がある場合は、入学者選抜の「基本方針」の変更に先立ち、事前に検討手順を整理の上、教育委員会会議にてご審議いただく。

○令和9年度入学者選抜制度に関する中学校への周知については、指導課から通知を発出するとともに校長・園長会において説明を行う。

○なお、県立高校に関しては県教委から生徒・保護者あて文書が発出される予定とのこと。

○県が予定していた制度変更を見送った背景の一つである、国の「デジタル併願制」に関する検討状況については、引き続き情報収集に努め、新たな情報が入り次第報告する。

(参考)本市におけるこれまでの検討経過(概要)

令和6年3月	県立高等学校入学者選抜制度改革に係る新制度の概要公表
令和6年4月～ 令和7年3月	■熊本市教育委員会会議：県の制度変更を踏まえた協議(7回) ■市立高校管理職と指導課との意見交換 ■市立高校職員、生徒、中学校長及び中学校進路指導担当教員へのヒアリング(意見交換または書面による意見聴取) ■令和9年度入試日程に関する私学代表、県教委との協議